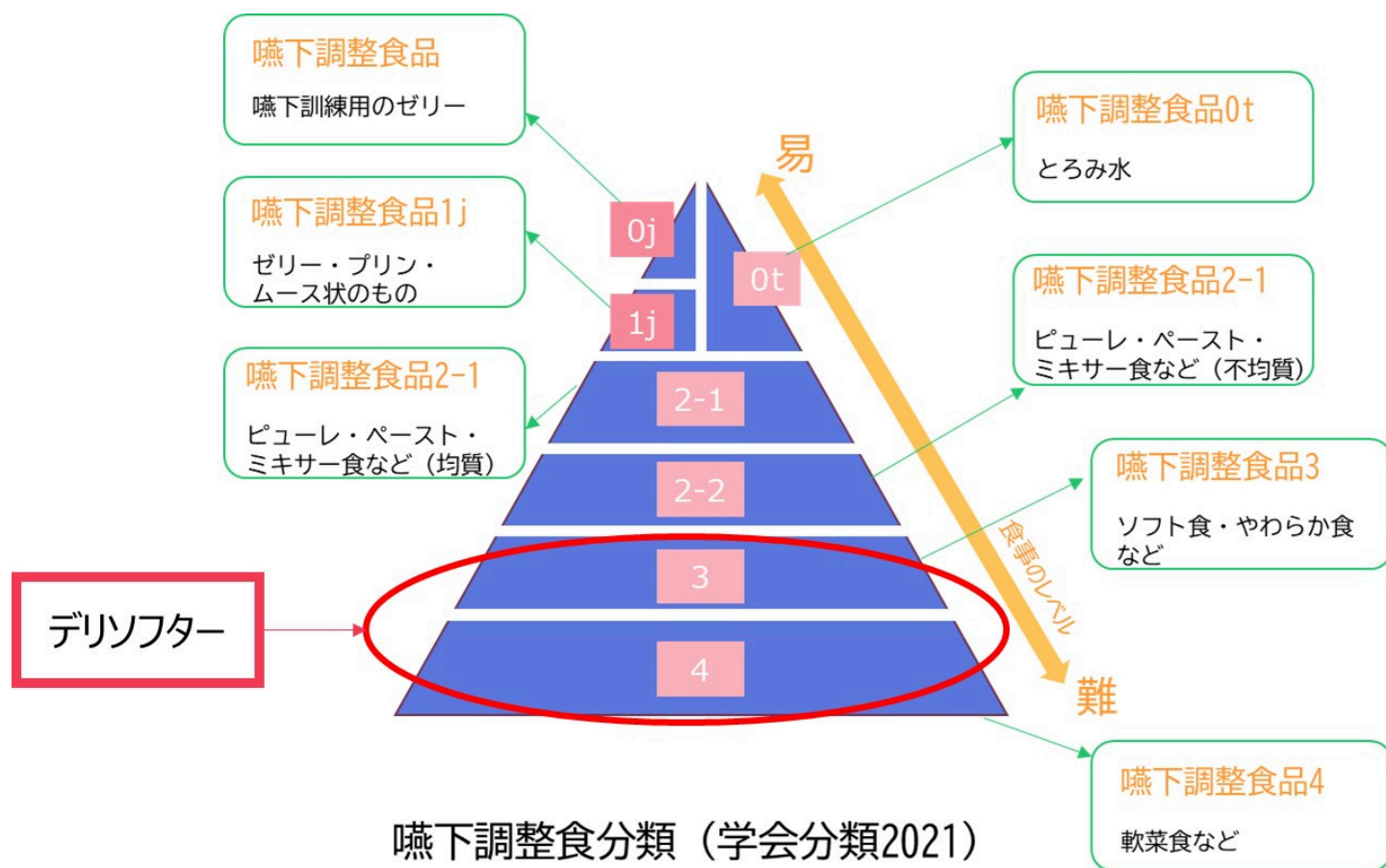


デリソフターのやわらか食について ～高齢者の場合～

嚥下食といっても、それぞれ食べられるやわらかさは違います。日本摂食嚥下リハビリテーション学会では、病院・施設・在宅医療および福祉関係者が共通して使用できることを目的に、食事5段階およびとろみ3段階について段階分類されています。

デリソフターでは下の図の嚥下調整分類ピラミッドの中の3および4に該当する食事（やわらか食）を主に作ることができます。



デリソフターができることは？

- ①食材を容易に噛める/歯茎で噛める/舌で潰せる固さまで見た目そのまま柔らかくすることができる
- ②家族と同じ食事、食べ慣れた家族の手料理や市販のお惣菜なども手軽に食べることができる
- ③嚥下障害をお持ちの方に食事の見た目そのまま、美味しく、かつ適切な食形態で食事を提供できる
- ④デリソフターにセットし最大29分でやわらか食ができるのため、介護食作りの負担軽減ができる

デリソフターを使用することで、作る側も食べる側も笑顔になることができます！